

豊川地区における自転車駐車場の有効活用等に関する サウンディング型市場調査の結果の公表について

令和7年2月20日

1 サウンディング実施の経緯

JR飯田線豊川駅、名鉄豊川線豊川稲荷駅周辺には3つの自転車駐車場（無料の豊川駅東口自転車駐車場、豊川駅西口自転車駐車場、有料の豊川駅西口第2自転車駐車場）があり、そのうち無料である豊川西口自転車駐車場においては、慢性的な飽和状態であり、駅やバス利用者の利便性の低下に加え、観光地の最寄駅として景観的にも芳しくない状態となっており、当該地区の魅力や雰囲気損ねる可能性があり課題となっています。

また、有料の豊川駅西口第2自転車駐車場は利用率が低く、効果はみられるものの、豊川駅西口自転車駐車場の混雑の解消には至っていないことが課題となっています。

本市では、このような課題の改善や自転車駐車場用地の有効活用等について、検討を進めています。

本調査により、上記の検討をより有効に進めるため、民間事業者へサウンディング（個別対話）を実施し、意見・提案等を得られましたので、その結果を公表します。

2 サウンディングの実施スケジュール

令和6年12月6日	サウンディング実施要領の公表
令和7年1月21日～令和7年1月23日	サウンディングの実施
令和7年2月20日	サウンディング結果概要の公表

3 サウンディングの参加者

建設事業者：2者
不動産事業者：1者
自転車駐車場事業者：4者
合計：7者

4 サウンディング結果の概要

(1) 自転車等駐車場に関する主な意見

① 駐輪環境の改善に関する提案・意見

- 各自転車駐車場のアンバランスな利用実態の改善
- 豊川駅西口第2自転車駐車場の利用率向上
- 維持管理コストの低減

- ・ 無料の自転車駐車場がある場合、有料自転車駐車場との共存は難しい。有料化する場合は、駅単位で取り組む必要がある。
- ・ 有料化は駅単位ですべてを有料化したい。無料があると無料に集まってしまう。
- ・ 無料、有料（高い、安い）と差をつけ、立地条件と料金でバランスをとってはどうか。
- ・ 管理が難しくなるため、料金は一律が望ましい。
- ・ 利用実態のアンバランスは、地形的な要因が大きく、有料化により西口の利用者を限定・指定せざるを得ないのではないか。
- ・ 東口の容量を拡大しても、西口の利用実態は変わらない可能性が高い。

◆本市の対応

- ・ 駅単位での有料化についても、検討の候補としてまいります。

② 事業に関する主な提案・意見

- 想定する事業概要、事業期間、スケジュール
- 自主事業の実施に関する可能性

- ・ 駅単位で3カ所全ての管理運営ができれば、DBOで整備できる可能性がある。
- ・ DBOの場合、事業期間は20年を想定する。
※ DBO：設計施工・維持管理・運営等を一括して委託する整備・運営手法のこと。
- ・ 整備内容、有料化の方法については様々な手法がある。検討が必要。
- ・ 指定管理のような手法であれば、最低5年を想定する。
- ・ 自主事業としては、物販、飲食店等を誘致できる可能性、宅配ボックス等の利便性向上機能、自動販売機の設置、シェアサイクルが考えられる。

◆本市の対応

- ・ ご意見を踏まえ、効率的な施設整備、管理運営手法について検討してまいります。
- ・ 自主事業については、利用者の利便性向上や駅前の魅力向上につながるため、引き続きその可能性について調査、検討してまいります。

(2) その他の意見

- ・ 施設整備については、P F I や D B O 等により 3 カ所の自転車駐車を一括発注することで事業コストや維持管理運営の最適化ができる。
- ・ 想定駐輪台数については、需要予測調査をすることが望ましい。
- ・ 有料化する場合、相応の利便性、快適性および防犯機能等が必要である。

◆本市の対応

- ・ ご意見を踏まえ、効率的な施設整備、管理運営手法について検討してまいります。
- ・ 需要予測や、施設整備内容について提案・意見を踏まえて検討してまいります。

5 サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、維持管理コストの低減や利用のばらつきの均等化、利便性向上に向けた施設整備手法や有料化、付帯事業等の提案が得られました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、引き続き豊川地区における自転車駐車の有効活用等に向けて検討してまいります。